

課題

根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用することが苦手

手立て

根拠を明確にするために必要な情報を資料から適切に引用し、自分の考えが伝わる文章を書く活動を充実させる

具体例

POINT① 引用の仕方を正しく理解させる

【引用とは】・・・本や文章の一部や文、語句などをそのまま抜き出すこと

【引用の際には】

- かぎ（「 」）でくくること
- 出典を明示すること
- 引用部分が適切な量であること

以上のことに理解を深めること

【出典を明示すること】

- 書名、著者名
- 発行年、掲載日
- 出版社、Webサイトの名称やURLなどを示す

※著作権に留意するため

※情報の受け手が出典を知ることができる

【引用する際は、文章に限らない】

図表やグラフ、絵や写真などから引用するときも同様に扱うことに留意する必要がある

指導事項として「学習指導要領」も確認しましょう！
「引用」については、小学校でも指導します！



【学習指導要領】

(小) 第3学年及び第4学年 知識及び技能 (2)情報の扱い方に関する事項 イ

(中) 第1学年 知識及び技能 (2)情報の扱い方に関する事項 イ



全国学力・学習状況調査でも、課題となっています。

令和4年度 全国学力学習状況調査 中学校・国語

2 三 平均正答率 全国 46.5% 県 44.8%

POINT② 正しい方法が理解できたら、実践する (引用が必要な場面で) 根拠を明確にして自分の考えを書く

☆具体例として

- ①注目した部分に印をつける(線を引く、囲むなど)
- ②引用する部分を書き抜き、「」でくくる
- ③出典を明示する(または必要に応じて記録する)

①②③ 自分の意見を支える根拠が明確になるようにする

- ④引用した部分についての自分の考えを書く←メモの段階
- ⑤引用の一つ一つについて書くとさらに根拠が明確になる
- ⑥メモをもとに、引用して自分の考えを書く文章を組み立てる

④⑤⑥ ①〜③で明確にした根拠に対しての自分の考えを書く

こんな場面でも実践できる! ・他教科で ・宿題で

国語科だけでなく、レポート作成などさまざまな場面で繰り返し行うことで着実に身に付けていくことが大切です!



POINT③ 引用の際のコツ、気を付けること

【コツ】

- ・文章の中に根拠を示しながら自分の考えを述べる
- ・引用は複数あるとさらに根拠がはっきりする
- ・整合性をみる(根拠に対しての自分の考え)
- ・自分の考えの根拠とするために必要な情報を取り上げているか(客観性や信頼性を確認して・考えの根拠としてふさわしいか)
- ・分量は適切か(引用に余分なところはないか)

【気を付けること】

- ・出典が明示されているか(書物は奥付で出典を確認するとよい)
- ・元の文章の書き抜きを正しくしているか(改変しない)

著作権に関わることなので、注意が必要であることを指導することも重要ですね!

